

アジア大会チームスプリント金メダル

謹賀新年



平成19年の念頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
 平素は本連盟の諸事業にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、昨年は12月にカタール・ドーハで開催された第15回アジア競技大会において、金メダル3個を含む7個のメダルと獲得することができました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。
 本年は、北京オリンピックが来年と迫り、ここ数年アジア各国における競技力の向上が目立ってきております。本連盟は、国際大会でのメダル獲得のために選手強化を一層図るべく、UCI元WCC主席コーチのフレデリック・マニエ氏をナショナルディレクターとしてJCFに招聘いたしました。
 フレデリック・マニエ氏には、2012年のロンドンオリンピックも見据えた選手の強化育成に力を注いでいただき、オリンピックでのメダル獲得を大いに期待しております。
 また、本連盟の課題である財源確保・スポンサー誘致のためにも自転車競技の人気を上げて、各方面より関心を得ることは大切なことでもあります。少子化問題のなかジュニア層の拡大や女子競技者の拡大、高齢化社会での生涯スポーツとしての自転車競技の普及、更には環境問題においても積極的に検討を重ね、広い視野を持ってスポーツ界に貢献できるよう努力していく所存です。どうか皆様方の絶大なるご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。
 最後になりましたが、この一年皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

財団法人 日本自転車競技連盟 会長 岩楯 昭一

シクリスムエコーNo.136 2007年1月号



第15回アジア競技大会 2006 ドーハ 2

06-07 UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス#2 5
 フレデリック・マニエ氏をナショナルディレクターとして招聘 6



荻島美香シクロクロス世界選に挑戦 6
 第12回全日本シクロクロス選手権大会 7
 シクロクロス ナショナルセレクション・シリーズ総合順位 7



2006年世界室内自転車競技選手権大会 8

第37回全日本室内自転車競技選手権大会 9
 2007年度JCFレースカレンダー 10
 平成19、20年度役員改選に係る候補者の受付について 11
 競技大会結果 <地区プロ> 12
 競技大会結果 <地域大会> 13
 審判講習会開催のお知らせ 16
 日本代表選手団 16
 連盟の動き 16



この広報誌は、「競輪公益資金」の補助を受けました。
<http://keirin.jp/>



第15回アジア競技大会2006ドーハ

萩原(女子ロード)北津留(スプリント)チームスプリントが金メダル!



女子ロード金メダルの萩原

【12月3日】 自転車競技最初の種目である男子個人ロードレースが始まった。天気は良かったが風が強く、選手には過酷なレースとなった。折り返しまで向かい風、帰りは逆風のコースを3周する165kmでレースは行われた。レース序盤で早くも集団が2つに別れ、飯島と別府を含む12人の逃げが決まった。後半に飯島が揺さぶりをかけ、イラン2人、カザフスタン2人、日本2人、香港1人、韓国1人、モンゴル1人の9人でゴールを目指した。ラスト20km位でイランと韓国がアタック、遅れて香港もアタックして3人が先頭になり、遅れた6人がこれを追いかける。飯島とカザフスタンの2人が中心になって追うが、3人には数メートル届かずゴールとなる。香港のワン・カンボがアジア大会2回目の優勝を成し遂げた。飯島は6位入賞に終わった。別府は3分遅れて9位でゴール、5日の個人TTに期待する。向かい風では33km/h、追い風では68km/hのスピードだった。

夜にトラック組の女子と中距離、短距離の男子9人が入村して来た。

【12月4日】 女子個人ロードレースは、沖と萩原が挑み、12時30分に113kmのレースがスタートした。昨日に比べると風も強く無く、気温は23度で走りやすい天候だった。レースの序盤に沖ら4人が抜け出し先頭を走るが、1回目の折

り返し20km手前で吸収された。ラスト周回では萩原を中心に、6人で先頭グループを形成して逃げるもゴール50km手前で後続につかまったが、残り10kmの所でペースが緩み横に広がった時に、チームカーの三浦コーチの指示で萩原がアタック。見事にこれが決まり20mの差を広げ、独走状態に持ち込んだ。集団に残る沖が、見事なコントロールをして萩原をアシストした。萩原はこの結果、逃げ切りでゴールに飛び込んだ。沖も最後までアシストしながら上位を目指したが、残念ながら写真判定で微差の4位に終わった。女子ロードの金メダルは、2人で勝ち取った最初のメダルだった。明日の個人TTも

これに続いて欲しい。萩原頑張った。おめでとう。

【12月5日】 この日は、男女ロード個人TTが行われる。まず女子の唐見が23.8kmにチャレンジ。前半はペースも良く3位で折り返したが、後半になると韓国に逆転され16秒の差をつけられ、健闘むなしく4位に終わった。現世界チャンピオンで、ロシアからカザフスタンに移籍させてまで出場させたザピロバは振るわず、中国のリ・メイファンが優勝。

男子は、44.8kmの周回コースを2周で行われ、別府は1周目に3位との差が15秒の4位で通過しラストに期待したが、逆に21秒に差が開き4位に終わった。中国は男女ともに優勝。日本は男女ともメダルにもう1歩届かなかった。残念である。

トラック選手は午後6時からの指定練習に行き板張りバンクに慣れるように長めに乗らせた。機材の運搬にセキュリティが厳しく、16時に用意して20時に競技場に到着する最低な運営に言葉も無くなった。

【12月6日】 ロードレースの最終日、チームTTに阿部、岡崎、廣瀬、盛の4人がメダルを目指し、3大会ぶりのこのレース70.3kmに挑んだ。前半に韓国が2位に16秒の差を着け中盤までトップを走るが、前半のオーバーペースでスプリットタイムが7位に落ちた。日本は前半4位を維持しチームワーク良くペース配分を守り、中盤にペースを上げ3位



チームTT銅メダルの日本チーム

に上がった。1位カザフスタン、2位イランで終盤に入り、日本は最後の折り返しでイランとの差を7秒差に追い上げラストに期待したが、5秒届かず惜しくも3位に終わった。最後のスプリットタイムは2位のタイムだった。4人で力を合わせてよく頑張った。

午後4時からのトラック組の練習では、ウォーミングアップ中に内田 慶の前輪がパンクし落車。後ろの飯島規と萩原も落車し、3人は選手村の病院に運ばれた。幸い骨には異常は無かったが、萩原は足の付け根の筋肉を傷め激痛でトラック競技の参加が難しく、飯島のフロントホークが破損し使い物にならなくなったが、鬼原、斉藤メカニックの努力で何とかなりそうになった。

【12月9日】 トラックレースが今日から始まった。12時30分、男子4km個人追抜競走からスタートした。7組にメンバー変更した西谷が出場。前半から積極的に走る様に指示し、1kmの入りか1分11秒で通過2kmまで16秒台で来てたが、3kmでは17秒台に落ちてしまう。心配したが追抜いたマレーシアが抜き返して来て、それを目標に追走したことで16秒台に戻り、その結果自己新の4分36秒763で予選2位に入り決勝に進んだ。内田は12組で出場したが、のトレーニング中のパンク落車などの影響もあり11位に終わった。

14時12分、女子500mTTが始まり、2組スタートの沼部は、自己新をだすも4

位に終わった。14時58分から男子1kmTT、及川が9組で出場。スタート良く飛び出し500mまで1位のタイムだったが、後半は2位のタイムに落ち0.168秒の差で中国のフェン・ヨンに惜敗した。最終走者、韓国の優勝候補カン・ドン・ジンがスタートを失敗し、タイムが伸びず3位になり及川が銀メダルを獲得した。

【12月10日】 12時30分、チームスプリントから始まる。対戦相手はマレーシアチーム。1時間前に新田を外し、三走に昨日の1kmで調子が良かった及川を起用した。成田はスタートで自己新を出し渡辺が継続、及川が踏ん張ってゴール1番時計で予選通過。これまで中国に破れ悔しかったが一矢報いた。決勝では及川を外し、新田に戻した。1周目のラップで成田が17.968秒、再びの自己新で通過。渡辺も粘って新田に繋ぎ、予選よりも0.145秒短縮し、中国には0.063秒の僅差で勝ち、4人の力で金メダルを獲得した。おめでとう。ゴールした瞬間、チーム全員から「バンザイ」の音が轟いた。

4km個人追抜の決勝は、西谷が韓国のチャンピオンと対戦。2kmまでリードしてたが、タイムが落ちて逆転されたが、銀メダルを獲得し良く頑張った。女子3km個人追抜に和田見が走り、自己の持つ記録を9秒短縮する3分55秒625で9位になったが、良く走った。

【12月11日】 この日は9時30分から競技が始まるので、早朝5時30分にスプリント男女と団抜の選手が食事を取り、7時30分からウォーミングアップをした。男子スプリントTTに渡辺と北津留が走ったが、4位と7位通過に終わった。1回戦では、両者共に勝ちあがり翌日の1/4決勝に進むことが出来た。女子も篠崎と佃が出場し12秒台のタイムだったが、ベスト8に入り翌日のレースに進めた。団体追抜は飯島規、内田、西谷、盛で走り、日本新記録に1秒及ばぬ4分19秒台の記録の4位で予選を通過し、翌日のレースで銅を目指す。この日は1日が長かった。

【12月12日】 12時30分に西谷、内田、盛、角の4人が団体追抜に挑んだ。昨日のミーティングで飯島規と角を入れ替えて走ることに決め、日本記録と銅メダルを目指した。対戦相手の中国も必死に挑んできた。2000mまで五分五分だったが、盛が離れ3人になり中国に遅れをとり万事休す。残すは日本記録更新かと思ったが、内田が遅れたため1秒届かず、残念ながらもどちらも得ることが出来なかった。しかし初めてのメンバーでよく走った。

スプリント女子は、篠崎、佃は次に進むことが出来なかった。力の差が有りすぎる。男子は北津留が力強さを見せ付けて勝ち上がり1/2決勝に進んだ。渡辺は、韓国にストレート負けし、言葉も無い。「アジアをなめるな」。ポイントレースに飯島誠と角が各予選に出走し、2人共1ラップし無難に決勝に進んだ。

【12月13日】 スプリント3日目の5~8位決定戦女子から。篠崎、佃が走るも韓国に歯が立たず6位、7位に終わる。日本のレベルの低さが恥ずかしい。新たな人材を見つけないと。男子の5~8位決定戦は、昨日の悔しさを力に変えて渡辺の1人舞台でスタートから先行し、3人を寄せ付けずに逃げ切り勝ちし、5位の成績で終えた。北津留は、準決勝でライバルでもあるマレーシアのヌグと対戦し、ダッシュの差で1本取られたが、2本目と3本目を捲りで決めて決勝に進んだ。決勝は、韓国と対戦。1本目は合わせ先行で逃げ切り勝ち。2本目はコミッセルの微妙な判定で反則負け。3本目に豪快な捲りを決めて金メダルを奪取した。良くやったおめでとうツルツル。「バンザイ」の嵐である。



金メダルのチームスプリント



スプリント金メダルの北津留

飯島誠と角がポイント決勝に出場したが、惜しくも飯島が4位に終わりメダルを取ることが出来なかった。角も頑張ったが若さが故のボンミスもあり8位に終わった。もう少し学習させねばならない。ここからの成長を望む。この悔しさをバネにしる。

[12月14日]トラック最終日。ケイリン、女子ポイントレース、マディソンの3種目が行われた。ポイントレースは、中国と韓国が強く1点差で中国が競り勝ち金、日本は、萩原に変わって出場した和田見が途中落車のDNF。村中は粘り強く頑張り3ポイントを取ったが、11位に終わった。ケイリンに稲垣と海老根の2人が出たが、海老根は予選で韓国と競り合いになり落車し、敗者復活回りとなったがこれを棄権して終了。稲垣は予選、準決勝を先行し、どちらも1位で決勝戦に進んだが、決勝ではマレーシアが先行になり5番手から追い込む展開で3位となり銅メダルに終わった。マディソンに西谷、盛の愛三コンビが出たが、2周回に盛が落車でコンビネーションが悪くなり、1周ラップされ苦しくなった。最後まで諦めずメダルを狙い力走したが、7位に終わり韓国が優勝した。レースの機会が無く、経験不足とタッチワークのテクニックの差が顕著に現れた。経験を積めば韓国に勝てるだろう。

3週間の日程で各選手も自分の持てる力を出し切り、よく頑張ったと思う。

幾つかのアクシデントも有ったが乗り越えることが出来た。各関係団体の皆様の期待に応えられなかったことを深くお詫び申し上げます。感謝いたしご報告といたします。(監督 福田 公生)

・アジア大会写真提供 Y.Sunada

[競技結果]

第15回アジア競技大会

(2006/12/1-15 カール・ドール)

(ロード: 2006/12/3-6)

(トラック: 2006/12/9-14)

男子個人ロードレース(156.4km)

1	WONG Kam Po	HKG	3:45:02
2	SOHRABI Mehdi	IRI	3:45:02
3	PARK Sung Baek	KOR	3:45:02
6	飯島 誠	JPN	3:45:05
9	別府 史之	JPN	3:47:57

女子個人ロードレース(113.1km)

1	萩原麻由子	JPN	3:06:10
2	ZHAO Na	CHN	3:07:38
3	HAN Song Hee	KOR	3:07:38
4	沖 美穂	JPN	3:07:38

男子個人タイムトライアル(44.8km)

1	SONG Baoqing	CHN	55:33.35
2	VAKKER Evgeny	KGZ	56:16.83
3	MIZUROV Andrey	KAZ	56:51.92
4	別府 史之	JPN	57:48.35

女子個人タイムトライアル(23.8km)

1	LI Meifang	CHN	31:17.85
2	ZABIROVA Zulfiya	KAZ	32:10.24
3	LEE Min Hye	KOR	33:37.57
4	唐見美世子	JPN	33:53.60

男子チームタイムトライアル(70.3km)

1	加ッスウ	1:24:40.67
2	イソ	1:25:56.60
3	日本 阿部・岡崎・廣瀬・盛	1:26:01.49

男子スプリント

1	北津留 翼	JPN
2	CHOI Lae Seon	KOR
3	TANG Qi	CHN
5	渡邊 一成	JPN

男子1kmタイムトライアル

1	FENG Yong	CHN	1:04.607
2	及川 裕奨	JPN	1:04.775
3	KANG Dong Jin	KOR	1:04.786

男子ケイリン

1	KANG Dong Jin	KOR	
2	NG ONN LAM Josiah	MAS	
3	稲垣 裕之	JPN	
	海老根恵太	JPN	1回戦敗退

男子4km個人追抜競走

1	JANG Sun Jae	KOR	4:35.433
2	西谷 泰治	JPN	4:42.081
3	HWANG In Hyeok	KOR	4:38.589
11	内田 慶	JPN	4:44.264

男子ポイントレース(40km)

1	CHEUNG King Wai	HKG	22p
2	TUYCHIEV Vladimir	UZB	18p
3	CHERNYSHOV Ilya	KAZ	17p
4	飯島 誠	JPN	10p
8	角 令央奈	JPN	-2p

男子マディソン

1	韓国	35p
2	加ッスウ	21p
3	イソ	17p
7	日本 盛・西谷	(-2) 6p

男子チームスプリント

1	日本 成田・新田・渡邊	45.590
2	中国	45.673
3	韓国	46.266

男子4km団体追抜競走

1	韓国	4:12.746
2	イソ	4:14.226
3	中国	4:14.489
4	日本 盛・西谷・角・内田	4:19.853

女子500mタイムトライアル

1	GUO Shuang	CHN	35.175
2	HSIAO Mei Yu	TPE	36.190
3	YOU Jin A	KOR	36.961
4	沼部早紀子	JPN	37.415

女子スプリント

1	GUO Shuang	CHN
2	GONG Jinjie	CHN
3	YOU Jin A	KOR
6	篠崎 新純	JPN
7	佃 咲江	JPN

女子3km個人追抜競走

1	LEE Min Hye	KOR	3:44.146
2	LI Meifang	CHN	3:45.870
3	WANG Li	CHN	3:49.489
9	和田見里美	JPN	3:55.625

女子ポイントレース(25km)

1	LI Yan	CHN	24p
2	LEE Min Hye	KOR	23p
3	NONTASIN Chanpeng	THA	11p
11	村中恵美子	JPN	3p
	和田見里美	JPN	DNF

2006-2007 UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス#2

中川が1kmで4位

ワールドカップ第2戦は12月15～18日、モスクワのクリラツカヤ競技場で行なわれた。我がチームはケイリン・スプリントに伏見俊昭、1kmTTに中川誠一郎、スプリントに金子貴志、チームスプリントはこの三人で戦った。

初日のケイリンには伏見が挑戦した。今までの日本の作戦は先行主体が中心のようだったが、今回はとにかく流れに乗り何でも有りにした。予選はムルダー(NED)・マキシミアン(GER)の組、スタート三番手で最後はまくりを試みるが5着で敗者復活回りに。敗者復活戦はスタートで2番手、最終周回ヴィノクロフ(UKR)・ムルダーの3番手で3着通過で2回戦へ進出。2回戦はまくり追い込みで2着、決勝戦へ進出。決勝戦はスタート後すぐ先行位置に、後ろはブルガン(FRA)・フレンチ(AUS)・レビー(GER)・ムルダー・ヴィノクロフで周回が続きレビーが動き最後はフレンチが前に。ブルガンが先行しヴィノクロフのまくり追い込みが決まり1着、伏見は終始内に詰まり6着。

1kmTTは中川誠一郎、1分04秒629で4位。スタートが失敗に見えたが2周目、最終周回と1番タイムで通過し3位と0.078秒差であった。

スプリント予選は金子10秒206・伏見10秒213で14位・15位。通過7人が9秒台とレベルが高いレースとなった。まず1/8決勝は伏見はボジェ(FRA)、金子はニムケ(GER)と対戦したが何せ相手は9

秒台の選手、善戦はしたが力及ばず。9～12位決定戦、伏見はクウィアコウスキー(POL)と対戦するも寸前差され、金子はヴェルトと、最終回1コーナーでまくりきるも差されスプリントは終わった。

チームスプリントは第1走は金子、その後伏見、中川と続き1分00秒026で5位。作戦は各自全力で後ろを離すつもりで走れ!(離れてもOK)だった。

今回は出場予定の永井が負傷したため、急遽中川が代わりに出場し健闘した。チームスプリントでは久しぶりに中国に先着し、スプリントでは次に繋がる戦いをしてくれた。しかしまだまだ課題がある。それらを解決し安心して練習に打ち込める環境を作り、少しでもトップに近づいて行きたいと思う。(阿部 良二)

[競技結果]

2006-2007 UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス#2
(2006/12/15-17 ロシア・モスクワ)

スプリント

1 BOS Theo	NED
2 NIMKE Stefan	GER
3 MCLEAN Craig	GBR
14 金子 貴志	JPN
15 伏見 俊昭	JPN

ケイリン

1 VYNOKUROV Andrei	UKR
2 MULDER Teun	NED
3 BOURGAIN Mickael	FRA
6 伏見 俊昭	JPN

1kmタイムトライアル

1 SEIDENBECHER Michael	GER	1:02.853
2 SIREAU Kevin	FRA	1:03.720
3 BOLIBRUKH Yevgen	UKR	1:04.551
4 中川誠一郎	JPN	1:04.629

チームスプリント

1 Great Britain	58.812
2 Netherlands	58.916
3 France	59.324
5 日本 伏見・金子・中川	1:00.026

2006-2007 UCIトラック・ワールドカップ第2戦 日本代表選手団

大会名 2006-2007 UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス#2
開催場所 ロシア・モスクワ
大会期間 2006年12月15日～17日
派遣期間 2006年12月11日～19日
代表選手団

監督 阿部 良二(JCF選手強化コーチ)
幼ニツ 森 昭雄(JCF選手強化スタッフ)
マッサー 石田 宗男(JCF選手強化スタッフ)
通訳 渡邊 三郎(JCF選手強化スタッフ)
選手 金子 貴志(JPCA・愛知)
伏見 俊昭(JPCA・福島)
中川誠一郎(JPCA・熊本)



日本航空
空で逢いましょう。

Dream Skyward.

ご予約・お問い合わせ
www.jal.co.jp

国内線 ☎ 0120-25-5971
(営業時間 6:30～22:00/年中無休)

国際線 ☎ 0120-25-5931
(営業時間 8:00～21:00/年中無休)

フレデリック・マニエ氏(元UCI・WCC主席コーチ)をナショナルディレクターとして招聘



去る1月12日、東京・赤坂の日本自転車会館1階イベントホールにおいて、この度JCFナショナルディレクターに就任したフレデリック・マニエ氏の記者会見が催され、今後の選手強化方針等について語った。

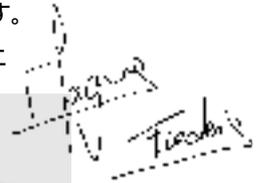
日本のみなさま

この度、私の念願でありました自転車競技日本チームのナショナル・ディレクターに就任することができました。オリンピックに向けて、最強のチームを作り上げられるようにベストを尽くします。今後も日本ナショナルチームに対する熱いご声援とサポートをお願いいたします。

フレデリック・マニエ

<略歴>

1969年フランス・ツール生まれ、37歳
UCIトラック世界選手権(タンデム・ケイリン)優勝7回
UCIトラックワールドカップ(ケイリン)優勝4回
オリンピック出場4回、国際競輪優勝2回
1985年～2000年フランス国内タイトル19勝
パリの国立スポーツ学院大学卒
仏ジュニア・トラック・ナショナルコーチ、
WCCトラック・ヘッドコーチ、UCI強化訓練部長を歴任



～ 荻島美香(オランダ在住・2児の母)シクロクロス世界選に挑戦 ～

私が自転車競技へのそそももの復帰の発端は、ランニングから始まりました。30分でも満足がいき、短時間で運動量の稼げるランニングを試みました。そうこうしているうちに、大会へ出てみては.....、という主人の勧めでローカルレースに出始めました。ランニングでは徐々にタイムを縮め、自分を追い込むことができると気づきました。そしてまだまだ頑張れると思うようになりました。

そして、その思いを主人に打ち明けました。主人は快く賛成してくれました。2006年の世界選の4ヶ月前でした。世界選にはトレーニングを続け臨みましたが、落車による膝の故障とレース直前の肋骨のひびで思うように走ることができませんでした。

しかし、今シーズンは違います。夏からのトレーニング、夜の10時ごろまで明るいヨーロッパで沢山のクラブチームおじさん達のお陰もあり、良い練習をすることが出来ました。ドイツでのクリテリウムで1勝をあげ、クロスシーズンに入りました。初戦のHarderdijkで、トップから2分半遅れの14位でゴール。良い手ごたえでした。

オランダのナショナルレースBoxtelで砂に前輪を取られ落車したり、枝がリアディレーラーに噛み、自転車を押さなくてはならないアクシデントがありながらも2位となり、表彰台へ子供達と一緒に上がる事が出来ました。レベルの高いここオランダで表彰台に立つ事が出来、大変うれしかったです。(写真右)

最後に、私は日本人であるという事をヨーロッパで示したいです。日本企業のジャージ

をまとい、子供にも同じジャージを着せて一緒に表彰台へ立つのが私の夢です。4歳と2歳の2児の母として、妻として、そして選手として、いつまで、どこまで続けられるか判りませんが、頑張っていきます。



<荻島美香プロフィール>

1994年アジア競技大会・個人ロード第4位。
1999年全日本シクロクロス選手権1位。
シクロクロス世界選手権2000年23位、
2001年21位、2006年41位。

末永くお付き合いいただくために。



シマノ製品をご愛用いただきまして

ありがとうございます。

シマノではユーザーの皆様へ、当社製品と

末永くお付き合いいただけるよう、

各種補修用パーツをご用意しております。

- 製品についている取扱い説明書をご使用前に必ずお読みください。
- 機能保証のために分解できないパーツもあります。
- お近くの自転車店でご相談下さい。別途送料がかかる場合があります。
- 在庫状況により、品切れの場合もあります。予めご了承下さい。

SHIMANO

www.shimano.com

XBC001-A

第12回全日本シクロクロス選手権大会

昨年につき、MEN 辻浦・WOMEN 豊岡が優勝!



女子のスタート

12月3日に第12回を数える全日本シクロクロス選手権大会が、北海道・苫小牧市緑ヶ丘総合運動公園特設コース(1周3.5km)で開催された。北海道での全日本シクロクロス選手権は初めての開催となった。日本においてもシクロクロスは冬場のレースとして全国各地で開催され人気が高くなっている。

レースは男子の部と女子の部で争われ、男子の部では、辻浦圭一(奈良・ブリヂストン・アンカー)が2位の小坂正則(長野・スワコレーシング)に1秒差で5

連覇を達成した。3位には地元北海道出身の山本幸平(北海道・国際アウトドア専門学校)が17秒差で3位に入った。

女子の部は豊岡英子(大阪・masahikomifune.com)が2位の志村みちこ(埼玉・エキップあずみの)に1分56秒差をつけて圧勝し今大会2連覇を果たした。

[競技結果]

第12回全日本シクロクロス選手権大会
(2006/12/03 北海道・苫小牧)

Elite Men & U23 (28.40km)
1 辻浦 圭一 BRIDGESTONE 1:07:39



女子優勝の豊岡

2	小坂 正則	SUWAKO Racing	+0:01
3	山本 幸平	Kokusai Outdoor	+0:04
4	丸山 厚	SUWAKO Racing	+0:17
5	竹之内 悠	Ritsumeikan UJI	+4:11
6	中間森太郎	Saitamakenjin	+5:22
7	飯塚 隆文	SUWAKO Racing	+6:23
8	堂城 賢	GARY FISHER	+6:45
9	大塚 航	masahikomifune	+7:08
10	三船 雅彦	MIYATA SUBARU	+7:30

Elite Women (14.40km)

1	豊岡 英子	masahikomifune	41:01
2	志村みち子	Equip AZUMINO	+1:56
3	田近 郁美	GOD HILL	+1:58
4	酒井 真清	Testach Racing	+4:21
5	狩俣けい子	Testach Racing	+7:09



シクロクロス ナショナルセレクション・シリーズ総合順位

<EliteMen>



第1位
辻浦 圭一
チーム
ブリヂストン・アンカー
21600 p

2	小坂 正則	スワコレーシング チーム	8725
3	丸山 厚	スワコレーシング チーム	4425
4	三船 雅彦	ミヤタビルディング	2325
5	深谷 幸彦	MXストーク	3600
6	山本 聖吾	快レーシング	1225
7	中間森太郎	チーム埼玉県人	1673
8	飯塚 隆文	スワコレーシング チーム	1133
9	松井 正史	シノノドリレーシング	900
10	池本 真也	和光機器外務	394

<U23>



第1位
山本 幸平
国際アウトドア
専門学校
4500 p

2	竹之内 悠	立命館宇治高校	2700
3	伊澤 優大	Bee Club R.T	747
4	大塚 航	masahikomifune.com	850
5	藤岡 徹也	CLUB SILBEST	689
6	松井 響	北桑田高校	325
7	石井 陽	立命館大学	225

(第1戦 2006/10/15 長 沼)
(第2戦 2006/10/29 黒 部)
(第3戦 2006/11/19 霧が峰)

<EliteWomen>



第1位
豊岡 英子
masahikomifune.com
180 p

2	志村みち子	エキップ あづみの	170
3	田近 郁美	GOD HILL	140
4	酒井 真清	Testach Racing	65
5	狩俣けい子	Testach Racing	40
6	池田 桂子	Testach Racing	15
7	森 涼子	京大サイクリング部	13

(第4戦 2006/11/26 野洲川)
(全日本選手権 2006/12/3 苫小牧)

2006年世界室内自転車競技選手権大会

サイクルフィギュアの芦田が世界選最高位の12位!



サイクルサッカー、対クロアチア戦

UCI世界室内自転車競技選手権大会が11月24日から3日間、ドイツ東部のケムニッツ市で18の国と地域から、151人の選手が参加して開催された。

サイクルサッカーは前大会の結果から、成績上位6カ国がグループA、7位以下がグループBの1組と2組に分けられ、都築勝巳・松田鋼の日本チームはB1組でマカオ、スペイン、香港、スロバキアを下し、グループ入替戦出場権を賭けてB2組1位のクロアチアと3年連続の対戦となった。

グループBの欧州勢は、本場ドイツの地方リーグに参戦する等して急速に実力を伸ばしており、クロアチアも予想以上に強く、試合開始直後から次々とゴールを決められ、前半の3点差を追いつけず2対5で敗れた。日本はグループBの2位となったが、他のアジア勢は欧州勢に1勝も出来ずグループBの下位に低迷した。

グループAはリーグ戦1位で決勝トーナメントに進出したドイツが、昨年3位のオーストリア、準優勝のチェコを破って優勝。グループ入替戦ではクロアチアが、グループA 6位のフランスを4対3で破って昇格を決めたが、日本悲願のグループA昇格は今後更に厳しい状況が予想される。

世界選手権で行われるサイクルフィギュアは、男子がシングルとペアの2種目、女子がシングルとペアとフォーの3種目があり、男子シングルに4回目の出場となった芦田史朗は、逆立ち等の難易度の高い技を決めて世界選の日本人記録・個人記録を更新。世界選での日本

選手最高の12位に入った。

今回初参戦となった女子シングルの宮崎沙織は、堂々と演技したものの難易度の高い持ち技が少ない事から得点が伸びず、今回は25位に終わった。

サイクルフィギュアは欧州勢が強く、近年では香港やマカオといったアジア勢もめきめきと力をつけてきている。今大会も世界との差を痛感させられた大会ではあったが、室内競技連盟では普及を目指して競技用自転車の貸与等を行っているので、興味があるクラブは是非問い合わせ願いたい。(植本)

[競技結果]

2006世界室内自転車競技選手権大会
(2006/11/24-26 ドイツ・ケムニッツ)

サイクルサッカー-Aグループ

- 1 ドイツ Thomas Abel / Christian Hess
- 2 チェコ Jiri Bohm / Jiri Hrdlicka
- 3 オーストリア Dietmar Schneider / Simon Konig

サイクルサッカー-Bグループ

- 1 クロアチア Mihael Posedi / Jasmin Fazlic
- 2 日本 都築 勝巳 / 松田 鋼
- 3 ルーマニア Doroftei Dorian / Mircea Tric

サイクルフィギュア男子シングル

- | | | | |
|----|-----|----------------|--------|
| 1 | ドイツ | Schnabel David | 342,17 |
| 2 | ドイツ | Blab Florian | 340,63 |
| 3 | ドイツ | Hartmann Robin | 333,91 |
| 12 | 日本 | 芦田 史朗 | 274,63 |

サイクルフィギュア女子シングル

- | | | | |
|----|--------|-----------------|--------|
| 1 | オーストリア | Kohl Sarah | 329,35 |
| 2 | ドイツ | Wieland Claudia | 329,17 |
| 3 | ドイツ | Beck Sandra | 328,53 |
| 25 | 日本 | 宮崎 沙織 | 235,07 |



男子サイクルフィギュアの芦田



女子サイクルフィギュアの宮崎

2006年世界室内自転車競技選手権大会 日本代表選手団

大会名 2006年世界室内自転車競技選手権大会
開催場所 ドイツ・ケムニッツ
大会期間 2006年11月24日～26日
派遣期間 2006年11月18日～29日
代表選手団

監督 植本 昌之

コーチ 濱田美穂子

選手 サイクルサッカー

都築 勝巳(東京・ケルビム東京)

松田 鋼(千葉・ケルビム東京)

宮本 武彦(大阪・ピンキーズ大阪)

木下 直也(大阪・ピンキーズ大阪)

サイクルフィギュア

芦田 史朗(千葉・アンフィニ京葉)

宮崎 沙織(東京・東京輪球会)



第37回全日本室内自転車競技選手権大会

サイクルサッカーはピンキーズ大阪が3連覇!



サイクルサッカー
1位のピンキーズ大阪と2位のNITTSU

第37回大会は、12月16日(土)・17日(日)の2日間、昨年と同じ大阪南港のコモスクエア国際交流センター体育館にて開催された。サイクルサッカー30チーム(社会人15チーム・学生15チーム)、サイクルフィギュア男子3名、女子



男子サイクルフィギュアの芦田

3名の参加で熱戦が繰り上げられた。

サイクルサッカーは、1日目に1次予選トーナメント・敗者復活トーナメントの53試合が行われ、前年優勝のピンキーズ大阪(宮本・木下)、今年の世界選手権代表チームのケルビム東京(都築・松田)の2強をはじめ社会人8チームが、順当に2日目の2次予選リーグに進んだ。2次予選リーグA組ではピンキーズ大阪が、過去6連覇を含む8度全日本を制した古豪のNITTSU(松本・山本)に敗れ2位となったため、B組において圧倒的強さで1位となったケルビム東京と

順決定準決勝での対戦となった。実質的な決勝戦ともいえるこの試合は、場内が緊張で静まる緊迫した試合展開で、予想通り最後まで目の離せない接戦となり、3対2の1点差でピンキーズ大阪が振り切った。決勝戦は2次予選リーグで敗れたNITTSUとの対戦となったが、その無い落ち着いた試合運びで、ピンキーズ大阪が3対0で快勝し、3連覇をはたした。

サイクルフィギュアは、2日目に午前・午後の2回演技で競われた。男子では、今年の世界選手権代表選手の芦田史朗(アンフィニ京葉)が281.08ptの日本記録で優勝。女子は堀井和美(ブルーレイクエンジェル)が265.12ptで5連覇を達成した。

一般的に、サイクルサッカーでは、国内において若い学生チームの台頭が望まれる。優勝したピンキーズ大阪には、来年3月に出場するワールドカップファイナルでの上位ランク入賞に大いに期待したい。サイクルフィギュアでは、ともに12歳の竹中誠・佐藤風沙の世界で戦えるこれからの成長が楽しみだ。(佐藤)

[競技結果]

第37回全日本室内自転車競技選手権大会
(2006/12/16-17 大阪・コモスクエア国際交流センター)

サイクルサッカー

- | | | |
|---|---------------|------------|
| 1 | ピンキーズ大阪 | 宮本武彦・木下直也 |
| 2 | NITTSU | 山本勝敏・松本恒治 |
| 3 | ケルビム東京 | 都築勝巳・松田 鋼 |
| 4 | WITH M | 畑 仁・平田芳隆 |
| 5 | チームアジ | 森 茂史・黒田 岳 |
| 6 | CCKサティーズ | 現王園仁志・手島敏光 |
| 7 | 大岡山 Dhal Bhat | 橋本太郎・響田哲郎 |
| 8 | 蔵前 | 時倉宗大・藤田洋介 |

サイクルフィギュア男子シングル

- | | | | |
|---|-------|-------------|--------|
| 1 | 芦田 史朗 | アンフィニ京葉 | 281.08 |
| 2 | 芝山 耕輔 | 東京工業大学 | 250.99 |
| 3 | 竹中 誠 | 京滋CFCブルーレイク | 226.80 |

サイクルフィギュア女子シングル

- | | | | |
|---|-------|-------------|--------|
| 1 | 堀井 和美 | 京滋CFCブルーレイク | 265.12 |
| 2 | 宮崎 沙織 | 東京輪球会 | 242.95 |
| 3 | 佐藤 風沙 | 京滋CFCブルーレイク | 240.31 |



女子サイクルフィギュアの堀井

2007年度JCFレースカレンダー(案)

(2007.1.15現在)
日程は変更の可能性あります。

期 日	大 会・事業名	種 目	場 所
2007年3月29日～4月5日	2007年アジア選手権大会	TR・RR	アラブ首長国連邦/ドバイ
4月01日	第32回チャレンジサイクルロードレース	RR	静 岡/日本CSC
4月29日	第9回全日本学生クリテリウム大会	RR	滋 賀/立命館大学
5月06日	第26回西日本学生選手権大会	TR	大 阪/岸和田
5月12日～13日	第47回東日本学生選手権大会	TR	東日本地区
5月13日	第54回全日本プロ選手権トラックレース	TR	福 島/いわき
5月19日～20日	第9回修善寺カップ女子オープン	TR・RR	静 岡/日本CSC
5月20日	第9回門田杯U23ロードレース	RR	静 岡/日本CSC
5月20日～27日	第11回ツアー・オブ・ジャパン	RR	大阪・奈良・美濃・南信州・富士山・伊豆・東京
5月26日～27日	第76回全日本アマチュア選手権トラックレース	TR	新 潟/弥 彦
5月26日～27日	2007年JOCカップ	TR	新 潟/弥 彦
6月02日～03日	第41回全日本実業団西日本大会	TR	大 阪/関西CSC
6月02日～03日	第23回全日本学生選手権ロードレース	RR	長 野/奥木曾湖
6月10日	2007年全日本個人タイムトライアル	RR	秋 田/大 湯
6月17日	第41回西日本実業団サイクルロードレース	RR	広 島/中央森林公園
6月23日～24日	第10回全日本選手権ロードレース	RR	大 分/日 田
6月23日～24日	第76回全日本アマチュア選手権ロードレース	RR	大 分/日 田
6月23日～24日	第12回ジュニア全日本選手権ロードレース	RR	大 分/日 田
6月29日～30日	第38回全日本実業団東日本大会	TR	岩 手/紫 波
6月30日	第46回全日本学生チームロードレース	RR	秋 田/大 湯
7月01日	第41回東日本実業団サイクルロードレース	RR	岩 手/紫 波
7月01日	第19回全日本学生個人ロードタイムトライアル	RR	秋 田/大 湯
7月15日	第6回全日本実業団ロードレース in 石川	RR	福 島/石 川
7月20日～22日	2007年全日本MTB選手権大会	MTB	未 定
7月22日	第4回全日本実業団ロードレース in 小川	RR	長 野/小 川
7月27日～29日	2007年BMX世界選手権	BMX	カナダ/ビクトリア
7月28日～29日	第48回全日本学生選手権	TR	未 定
8月05日～12日	2007年ジュニア世界選手権	TR	メキシコ/アグアスカリエンテス
8月08日～12日	平成19年度全国高校総合体育大会	TR・RR	佐 賀/武 雄
8月11日～12日	環太平洋BMX選手権	BMX	新 潟/上 越
8月17日～19日	第15回ツール・ド・とうほく	RR	秋田・岩手・宮城
8月18日	群馬カップ	RR	群 馬/群馬CSC
8月26日～28日	第42回全国都道府県対抗大会	RR・TR	大 分/日田・別府
8月30日～9月2日	第63回全日本大学対抗選手権大会	TR	未 定
9月02日	第41回全日本実業団対抗ロードレース	RR	和歌山/熊 野
9月03日～09日	2007年MTB世界選手権	MTB	イギリス/フォートウィリアム
9月08日～09日	第38回全日本実業団選手権大会	TR	大 阪/関西CSC
9月13日～17日	第21回ツール・ド・北海道	RR	北海道/道北～道央
9月15日～16日	2007年日本スポーツマスターズ	RR	滋 賀/高 島
9月26日～30日	2007年ロード世界選手権	RR	ドイツ/シュトゥットガルト
9月30日～10月4日	第62回国民体育大会	RR・TR	秋 田/六 郷
9月30日	第8回アジア室内選手権	ID	マカオチャイナ
10月06日～07日	2007年全日本学生室内選手権	ID	東 京/東京工業大学
10月13日～14日	第10回全日本選手権トラックレース	TR	宮 城/大 和
10月14日	第43回全日本学生新人戦東日本大会	TR	東日本地区
10月14日	第43回全日本学生新人戦西日本大会	TR	西日本地区
10月21日	全日本実業団クリテリウム in 南紀	RR	和歌山/白 浜
10月28日	第16回ジャパンカップ	RR	栃 木/宇都宮
11月03日	2007年全日本チーム対抗大会	TR	静 岡/日本CSC
11月09日～11日	2007年室内世界選手権大会	ID	スイス/ピンテルトワール
11月11日	第19回ツール・ド・おきなわ	RR	沖 縄/名 護他
11月23日～25日	第37回全日本室内選手権大会	ID	鹿児島/加世田
11月24日	第23回全日本BMX選手権大会	BMX	大 阪/堺
2008年1月26日～27日	2008年シクロクロス世界選手権	CX	イタリア/トリエーゾ
3月27日～30日	2008年トラック世界選手権	TR	イギリス/マンチェスター

平成19、20年度役員改選に係る立候補者の受付について

平成19、20年度役員改選について、役員選任規程第2条第1項第3号の規定に係る8名の役員の選任は下記のとおり立候補者を募りその中から評議員会において選任することとなりましたのでお知らせいたします。

記

平成19、20年度推薦理事立候補受付について(公示)

- 1 立候補受付期間：平成19年2月1日(木)から3月7日(水)まで
- 2 立候補受付場所：7ブロック地域事務所及び全国組織の加盟団体事務所(各受付場所の詳細についてはJCF事務局までお問合せ下さい)
- 3 立候補の方法：下記の届出書に必要事項を記載のうえ1.の期間内に2.の地域事務所等に提出する。
- 4 立候補の制限：平成19年4月1日現在70歳未満の者であること。
自転車競技の発展に情熱を持って活動できる者であること。
- 5 立候補の取り纏め：1.の締め切り後、地域事務所等は受付けた全ての立候補届出書を3月9日(金)までに日本自転車競技連盟宛FAX送信すると共に3月14日(水)までに日本自転車競技連盟宛郵送する。
- 6 立候補者の縦覧：日本自転車競技連盟は立候補届出書に基づき立候補者一覧表を作成し全評議員に3月15日(木・予定)送付する。
- 7 選挙の実施：立候補者が8名を超えた場合は3月27日(火)の評議員会において出席評議員による1名単記制の無記名投票で選挙を実施する。
- 8 公示の方法：機関紙シクリスムエコー(本号)及び日本自転車競技連盟HPに掲載する。

平成19・20年度推薦理事立候補届出書

受付日 _____ 受付番号 _____
 受付取扱者 _____ (地域別協議会名)

私は財団法人日本自転車競技連盟の寄附行為を遵守することを誓いここに立候補致します。

フリガナ	-----			年齢	才	男・女
氏名	印			生年月日	.	.
住所	〒-----					
電話番号			FAX番号			
電子メール						
加盟団体名(役職)						
職業(又は勤務先)						
自転車競技界での 主な活動歴						
(記入例)	競技歴：10年(ロード、トラック) 主な成績 年 国体 1000mTT 位 審判歴：国内1級(ロード、トラック) 1990年取得、国際コミッセル 1995年取得 指導歴：日体協(上級コーチ) 1998年取得 自転車競技の役職歴： 年 国体の競技委員長 JCF、体協等の役職歴： 年 世界選手権監督					

競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

< 地区プロ大会 >

北日本地区(宮城県自転車競技場) 333m

ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 渡邊 一成 福島
- 2 成田 和也 福島
- 3 榊枝 輝文 福島

ｸﾞﾘｯﾌﾟ

- 1 岡部 芳幸 福島
- 2 齋藤登志信 宮城
- 3 平沼 由充 福島

1kmﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ

- 1 大森 慶一 北海道 1:05.596
- 2 及川 裕奨 青森 1:06.199
- 3 松崎伊佐夫 福島 1:06.865

4km個人追抜競走

- 1 佐々木孝司 青森 4:58.045
- 2 佐藤 悦夫 福島 5:05.125
- 3 関戸 努 宮城 5:11.390

4km団体追抜競走

- 1 宮城 高浜・小松・関戸・菅田 4:38.031
- 2 福島 松崎・佐藤悦・青森・新田 4:40.334
- 3 青森 佐々木・佐藤友・石田・高谷 4:45.902

ﾎﾟｲﾝﾄﾚｰｽ

- 1 佐藤 友和 青森
- 2 佐藤 朋也 青森
- 3 山崎 芳仁 福島

ﾁｰﾑｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 福島 伏見・佐藤・佐々木 1:02.644
- 2 青森 及川・高橋・永澤 1:03.679
- 3 北海道 大森・田原・中村 1:04.682

関東地区(前橋競輪場) 335m

ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 山口 貴弘 栃木
- 2 平原 康多 埼玉
- 3 吉松 賢二 群馬

ｸﾞﾘｯﾌﾟ

- 1 手島 慶介 群馬
- 2 井上 貴照 群馬
- 3 金子 真也 群馬

1kmﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ

- 1 稲村 成浩 群馬 1:04.770
- 2 松田 優一 茨城 1:05.180
- 3 神山 拓弥 栃木 1:06.266

4km個人追抜競走

- 1 飯島 規之 埼玉 4:44.93
- 2 伊藤 太一 新潟 4:52.57
- 3 齋藤 昌弘 群馬 4:54.61

4km団体追抜競走

- 1 栃木 飯嶋則・宗景・内田・矢野 4:29.28
- 2 群馬 田中・手島・高橋・石川 4:31.33
- 3 埼玉 白岩・吉田・小沼・飯島規 4:39.48

ﾎﾟｲﾝﾄﾚｰｽ

- 1 田村 武士 新潟
- 2 高橋 大作 東京
- 3 北村 貴幸 群馬

ﾁｰﾑｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 栃木 坂本・神山・松岡 1:02.261
- 2 群馬 稲村・兵藤・矢口 1:02.319
- 3 新潟 藤原・志村・古屋 1:03.160

南関東地区(平塚競輪場) 400m

ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 石橋慎太郎 静岡
- 2 吉川 誠 神奈川
- 3 大塚 英伸 静岡

ｸﾞﾘｯﾌﾟ

- 1 海老根恵太 千葉
- 2 細川 洋 神奈川
- 3 松坂 英司 神奈川

1kmﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ

- 1 田中 晴基 千葉 1:06.103
- 2 三上 佳孝 千葉 1:08.301
- 3 田中 孝彦 静岡 1:09.061

4km個人追抜競走

- 1 原田 和明 千葉 4:59.78
- 2 深澤 伸介 静岡 5:02.80
- 3 石井 功二 静岡 5:07.95

4km団体追抜競走

- 1 静岡A 松江・村本・海野・山崎 4:37.48
- 2 神奈川 遠澤・加藤・梶山・畠山 4:37.80
- 3 千葉 篠田・岡本・小笠・石橋 4:53.44

ﾎﾟｲﾝﾄﾚｰｽ

- 1 岡村 潤 静岡
- 2 河合 康晴 静岡
- 3 木部 孝美 静岡

ﾁｰﾑｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 千葉 中村・伊勢崎・武井 1:16.80
- 2 静岡 渡邊・新田・鈴木 1:16.95
- 3 神奈川 勝瀬・福田・森川 1:18.10

中部地区(岐阜競輪場) 400m

ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 金子 貴志 愛知
- 2 北野 武史 富山
- 3 八日市屋浩之 富山

ｸﾞﾘｯﾌﾟ

- 1 小嶋 敬二 富山
- 2 吉田 敏洋 愛知
- 3 山内 卓也 愛知

1kmﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ

- 1 外山 三平 愛知 1:05.341
- 2 松山 桂輔 愛知 1:06.331
- 3 松尾 淳 岐阜 1:06.667

4km個人追抜競走

- 1 倉野隆太郎 愛知 5:00.32
- 2 児玉 利文 岐阜 5:03.38
- 3 山田 晃久 富山 5:24.02

4km団体追抜競走

- 1 富山 坂上忠・岩本・坂上樹・藤川 4:44.92
- 2 三重 松岡・上田裕・坂元・上田国 4:46.91
- 3 岐阜 山口・加藤・児玉・白井 4:55.99

ﾎﾟｲﾝﾄﾚｰｽ

- 1 舛井 幹雄 三重
- 2 鰐淵 正利 愛知
- 3 神田 聖治 三重

ﾁｰﾑｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 愛知 島野・渡会・富永 1:17.484

- 2 富山 伊藤・松崎・竹澤 1:18.633
- 3 岐阜 加藤・本村・永井 1:18.963

近畿地区(奈良競輪場) 333m

ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 村上 博幸 京都
- 2 松岡 健介 兵庫
- 3 中澤 央治 大阪

ｸﾞﾘｯﾌﾟ

- 1 高城 信雄 兵庫
- 2 村上 義弘 京都
- 3 古原 勝己 大阪

1kmﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ

- 1 伊原 克彦 福井 1:06.930
- 2 渡辺 航平 福井 1:07.596
- 3 藤田 真 兵庫 1:08.420

4km個人追抜競走

- 1 木本 賢二 大阪 4:56.815
- 2 肥後 勇志 奈良 4:59.046
- 3 櫻井 紀佳 滋賀 5:01.794

4km団体追抜競走

- 1 京都 窓場・久米・岩崎・山岸 4:32.560
- 2 福井 白崎・鷺田・伊原・堂村 4:39.350
- 3 大阪 村松・藤野・稲川・菊谷 4:40.043

ﾎﾟｲﾝﾄﾚｰｽ

- 1 久保田奉文 福井
- 2 窓場加乃敏 京都
- 3 菊谷 信一 大阪

ﾁｰﾑｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 福井 渡辺・松山・市田 1:03.270
- 2 京都 佐野・村上・伊藤 1:03.709
- 3 大阪 伊藤・坂本・木本 1:04.392

中国地区(防府競輪場) 333m

ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 前反祐一郎 広島
- 2 石丸 寛之 岡山
- 3 友定 祐己 岡山

ｸﾞﾘｯﾌﾟ

- 1 豊田 知之 岡山
- 2 星島 太 岡山
- 3 三宅 伸 岡山

1kmﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ

- 1 三宅 達也 岡山 1:06.151
- 2 内村 泰三 山口 1:06.413
- 3 吉永 和生 広島 1:06.633

4km個人追抜競走

- 1 中井 健二 岡山 5:02.29
- 2 藤原 悠斗 岡山 5:06.50
- 3 工 正信 広島 5:15.67

4km団体追抜競走

- 1 広島 石田・郡・岡本・大屋 4:38.18
- 2 岡山 中山・近藤・丹波・新村 4:38.20
- 3 山口 土田・出見・宮崎・隅 5:02.85

ﾎﾟｲﾝﾄﾚｰｽ

- 1 岩津 裕介 岡山
- 2 齋藤 勝 広島
- 3 柳谷 崇 岡山

ﾁｰﾑｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 広島 西田・吉本・隅田 1:03.73
- 2 山口 井出・内村・隅 1:04.16
- 3 岡山 井上・榊原・筒井 1:08.34

四国地区(松山競輪場) 400m

ｽﾌﾟﾘｯﾄ

1	高原 仁志	徳 島
2	山中 貴雄	高 知
3	葛西雄太郎	愛 媛

ｸﾞﾘｯﾌﾟ

1	佐々木則幸	高 知
2	梶應 弘樹	愛 媛
3	濱口 健二	高 知

1kmﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ

1	大西 祐	香 川	1:07.043
2	住村 実	徳 島	1:07.301
3	武智 真	愛 媛	1:08.855

4km個人追抜競走

1	鳥生 知八	愛 媛	4:54.42
2	松田 大介	愛 媛	5:00.78
3	松本 健一	香 川	5:16.68

4km団体追抜競走

1	愛 媛 上田・大崎・和田	4:36.41
2	高 知 武市・藤原・篠原・中村	4:39.72
3	香 川 宮本・近藤・真鍋・網谷	4:39.83

ﾌｰﾏｽﾌﾟﾘｯﾄ

1	愛 媛 濱田・渡部・岡本	1:16.65
2	高 知 松本・池田・野本	1:19.49
3	徳 島 室井・木村・小倉	1:20.40

九州地区(小倉競輪場) 400m

ｽﾌﾟﾘｯﾄ

1	北津留 翼	福岡A
2	山口 貴嗣	福岡B
3	松岡 貴久	熊本B

ｸﾞﾘｯﾌﾟ

1	西川 親幸	熊本B
2	小野 俊之	大 分
3	池尻 浩一	福岡B

1kmﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ

1	中川誠一郎	熊本A	1:04.281
2	荒井 崇博	佐 賀	1:05.239
3	田中 弘章	福岡B	1:06.520

4km個人追抜競走

1	松岡 孔明	熊本A	4:55.730
2	大久保 聡	鹿児島	4:56.470
3	田中 誠	福岡B	5:01.780

4km団体追抜競走

1	福岡B 終元・梶山・白水・田中	4:28.740
2	佐 賀 原・豊岡・池田・坂本	4:37.100
3	鹿児島 五反野・四元・竹野・今別府	4:38.620

ｲﾝﾓﾈｲｼﾞｮﾝ

1	中塚 記生	熊本A
2	田川 辰二	熊本A
3	岡田 雅之	熊本B

ﾌｰﾏｽﾌﾟﾘｯﾄ

1	熊本A 大田・松本・中川	1:14.610
2	福岡B 吉岡・坂本健・坂本竜	1:16.600
3	佐 賀 小林・富永・荒井	1:16.850

< 地域大会 >

全国地域別道路競走第38回北海道地域大会
(2007/7/30 北海道・天塩郡豊富町)

個人ﾀｰﾄﾞﾚｰｽ(160km)

1	阿部 嵩之	道央地区	4:15:09
---	-------	------	---------

2	今野 秀幸	道央地区	4:15:09
3	鍋谷 潤一	道央地区	4:15:09
4	柳原 直人	道央地区	4:15:09
5	三輪 俊史	道央地区	4:15:10
6	林 裕也	道央地区	4:15:10

第37回北海道地域ﾄｯｸ自転車競技大会
(2006/7/17 北海道・函館競輪場)

少年1kmﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ

1	桃野 健太	道尚志高校	1:14.01
2	池田 修久	函大谷高校	1:18.72
3	古川 勇也	道尚志高校	1:22.19

少年4km速度競走

1	岸 直樹	道尚志高校
2	熊坂 和也	道尚志高校
3	榊 竜太	札旭丘高校

少年ｲﾝﾓﾈｲｼﾞｮﾝ

1	桃野 健太	道尚志高校
2	有吉 直之	道尚志高校
3	荒谷 徹	道尚志高校

少年ﾌﾞｰﾄﾞﾚｰｽ

1	岸 直樹	道尚志高校	31p
2	熊坂 和也	道尚志高校	29p
3	榊 竜太	札旭丘高校	16p

成年ｽﾌﾟﾘｯﾄ

1	園田 鉄兵	ﾌﾞｲｯﾄﾞﾈｸﾗﾌﾞ ｷﾀﾞﾐ
2	久間 泰	北見管理公社
3	鍋谷 潤一	札学大学

成年1kmﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ

1	園田 鉄兵	ﾌﾞｲｯﾄﾞﾈｸﾗﾌﾞ ｷﾀﾞﾐ	1:11.55
2	久間 泰	北見管理公社	1:11.89
3	鍋谷 潤一	札学大学	1:13.45

成年ｸﾞﾘｯﾌﾟ

1	小野寺 保	大八清掃
2	池田 法生	函館家裁
3	長谷川幹彦	函館事務代行

成年4km速度競走

1	天沼 雅貴	鹿屋体育大学
2	本間 秀良	陸自恵庭駐屯
3	鷲沢 峰明	ワｸﾞﾀﾞﾘ商事

成年ﾌﾞｰﾄﾞﾚｰｽ

1	天沼 雅貴	鹿屋体育大学	28p
2	鷲沢 峰明	ワｸﾞﾀﾞﾘ商事	20p
3	小野寺 保	大八清掃	-3p

第58回東北自転車競技選手権大会

第33回東北地域自転車道路競技大会
(2006/8/25-27 宮城・大和)

成年ｽﾌﾟﾘｯﾄ

1	猪狩 卓男	福 島
2	田畑 英行	岩 手
3	高橋 潤	岩 手

成年1kmﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ

1	田畑 英行	岩 手	1:09.106
2	猪狩 卓男	福 島	1:11.343
3	渡邊 正光	福 島	1:11.975

成年ｸﾞﾘｯﾌﾟ

1	菅井 實之	山 形
2	佐藤 一伸	福 島
3	中村 敬	青 森

成年4km個人追抜競走

1	蝦名 洋平	青 森	5:04.119
---	-------	-----	----------

2	小野寺悠太	福 島	5:10.034
3	明珍多久雄	福 島	5:12.638

成年4km速度競走

1	糸賀 賢司	福 島	5:03.449
2	小村 茂之	青 森	
3	井上 卓秋	田	

成年ﾌﾞｰﾄﾞﾚｰｽ(30km)

1	蝦名 洋平	青 森	60p
2	糸賀 賢司	福 島	22p
3	菊地 信治	岩 手	17p

成年ﾌｰﾏｽﾌﾟﾘｯﾄ

1	岩 手 関田・高橋・田畑	1:07.402
2	福 島 猪狩・佐藤・玉木	1:07.775
3	宮 城 井上・相澤・清水	1:09.516

成年4km団体追抜競走

1	福島 明珍・渡邊・糸賀・小野寺	4:48.020
2	秋田 伊藤・井上・高橋・植村	4:50.231
3	青森 蝦名・小笠原・中村・上野	4:57.000

成年個人ﾀｰﾄﾞﾚｰｽ

1	蝦名 洋平	青 森	3:01:34.4
2	伊藤 博人	秋 田	3:01:55.1
3	井上 卓秋	田	3:02:04.6
4	小笠原 豪	青 森	3:03:30.0
5	本馬 啓介	山 形	3:05:36.4
6	渡邊 正光	福 島	3:06:31.3

少年ｽﾌﾟﾘｯﾄ

1	山崎 功也	秋 田
2	石川 雄太	秋 田
3	関根 彰人	福 島

少年1kmﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ

1	坂本 貴史	青 森	1:09.371
2	澤口 大和	宮 城	1:10.115
3	石川 雄太	秋 田	1:10.381

少年3km個人追抜競走

1	石田 正樹	青 森	3:41.803
2	奥崎 心吾	青 森	3:43.860
3	窪木 一茂	福 島	3:45.474

少年4km速度競走

1	坂本 貴史	青 森	4:50.541
2	須永 優太	福 島	
3	倉田 洋平	秋 田	

少年ｲﾝﾓﾈｲｼﾞｮﾝ

1	佐々木 真	青 森	4:38.738
2	工藤 勇司	青 森	
3	真船圭一郎	福 島	

少年ﾌﾞｰﾄﾞﾚｰｽ(24km)

1	奥崎 心吾	青 森	36p
2	窪木 一茂	福 島	35p
3	石田 正樹	青 森	25p

少年ﾌｰﾏｽﾌﾟﾘｯﾄ

1	福 島 関根・大島・真船	1:05.399
2	宮 城 澤口・佐々木・渡辺	1:07.397
3	秋 田 高橋・石川・山崎	1:07.480

少年4km団体追抜競走

1	福島 須永・橋本・相笠・窪木	4:39.336
2	青森 坂本・奥崎・石田・櫻庭	4:41.545
3	岩手 中田・藤村・君塚・千葉	4:47.655

少年個人ﾀｰﾄﾞﾚｰｽ

1	石田 正樹	青 森	2:29:09.3
2	本馬 陵	福 島	2:29:09.4
3	窪木 一茂	福 島	2:29:09.5

- 4 中田 匠 岩 手 2:29:09.6
- 5 大友 翔馬 宮 城 2:29:09.9
- 6 相笠 翔太 福 島 2:29:10.2

女子500mタイムトライアル

- 1 花山 千宏 宮 城 42.201
- 2 佐藤 美聡 秋 田 42.284
- 3 近内 稚明 福 島 42:364

女子スプリント

- 1 花山 千宏 宮 城
- 2 佐藤 千夏 秋 田
- 3 佐藤 美聡 秋 田

女子3km個人追抜競走

- 1 平舘 美輝 岩 手 4:18.249
- 2 大崎 誌穂 青 森 4:31.867
- 3 加藤加代子 山 形 4:46.316

女子個人ロードレース

- 1 平舘 美輝 岩 手 1:11:27.5
- 2 大崎 誌穂 青 森 1:11:59.6
- 3 加藤 加代 山 形 1:12:00.0
- 4 花山 千宏 宮 城 1:12:21.8
- 5 佐藤 千夏 秋 田 1:12:21.8
- 6 尾形 智子 福 島 1:12:39.4

第58回関東自転車競技選手権大会
(2006/8/12-13 神奈川・平塚競輪場)

男子スプリント

- 1 阿部 大樹 埼玉 大宮工業高校
- 2 亀山 尊仁 神奈川 東燃ゼネラル石油
- 3 大石 祥雄 東京 八王子工業高校

男子1kmタイムトライアル

- 1 駒井 大輔 東京 ミタビ`和パ`ル 1:10.42
- 2 小原 大樹 神奈川 横浜高校 1:10.92
- 3 福富 義雄 栃木 落合測量 1:11.44

男子ケイリン

- 1 水澤 耕一 東京 ミタビ`和パ`ル`M`ミ
- 2 酒井 勝平 山梨 甲府工業高校
- 3 西尾 孝政 埼玉 作州堂表具店

男子4km速度競走

- 1 飯塚 力也 山梨 甲府工業高校 4:59.23
- 2 大島 健 栃木 作新学院高校
- 3 市山 研 神奈川 法政第二高校

男子ホクトレース

- 1 辻本 翔太 順天堂大学 56p
- 2 菅原 勝良 埼玉 プ`パ`ン`ク成学院 53p
- 3 湯浅 徹 明治大学 30p

男子4km団体追抜競走

- 1 崎 玉 4:52.60
- 2 栃 木 4:52.21
- 3 神奈川 4:52.47

女子500mタイムトライアル

- 1 和知 恵美 東京 たかだフルト` 39.22
- 2 濱田 真子 東京 ミタビ`和パ`ル 41.47
- 3 岡 小百合 群馬 前橋育英高校 45.18

女子3km個人追抜競走

- 1 濱田 真子 東京 ミタビ`和パ`ル 4:22.47
- 2 和知 恵美 東京 たかだフルト` 4:24.93
- 3 智野 真央 東京 トレノ 4:35.14

女子スクラッチ

- 1 和知 恵美 東京 たかだフルト`
- 2 濱田 真子 東京 ミタビ`和パ`ル`M`ミ
- 3 智野 真央 東京 トレノ`じてんしゃの杜

第41回高石杯関東地域自転車道路競走大会
(2006/9/18 群馬・群馬CSC)

男子団体規定(4kmTTT)

- 1 群馬A 池田・齋藤・飯野 6:31.58
- 2 神奈川B 池本・竹内・椿 6:31.97
- 3 東京B 管・宮下・吉田 6:32.91

オープン男子(4km個人TT)

- 1 米山 一輝 茨 城 6:23.50
- 2 湯浅 徹 千 葉 6:31.63
- 3 二條 正則 埼 玉 6:37.56
- 4 江藤 真輔 東 京 6:42.66
- 5 功刀 政司 山 梨 6:43.29
- 6 辻本 翔太 千 葉 6:48.57

オープン女子(4km個人TT)

- 1 智野 真央 東 京 8:03.21
- 2 戸井麻里子 埼 玉 8:27.77
- 3 船木 美幸 東 京 10:26.79

第38回中部8県対抗自転車競技選手権大会
第40回中部8県自転車道路競走大会

(2006/9/9-10 石川県立競技場、氷見)

少年スプリント

- 1 田口 泰生 岐 阜
- 2 城木 健治 愛 知
- 3 村田 洋剛 三 重

少年1kmタイムトライアル

- 1 不破 将登 岐 阜 1:09.855
- 2 小川 海斗 三 重 1:10.255
- 3 宮嶋 貴一 長 野 1:11.450

少年4km速度競走

- 1 横関 裕樹 岐 阜 5:03.80
- 2 大石 洋輔 富 山
- 3 谷崎 亮介 静 岡

少年スクラッチ

- 1 若松 孝之 三 重 12:19.43
- 2 山田 純也 岐 阜
- 3 富田 拓 福 井

少年ホクトレース

- 1 高橋 翔太 岐 阜 64p
- 2 石田 輝 静 岡 44p
- 3 宮腰 諒 福 井 34p

成年スプリント

- 1 内田 晃弘 静 岡
- 2 湯原 正行 長 野
- 3 山崎 晃 石 川

成年1kmタイムトライアル

- 1 西村 光太 三 重 1:10.025
- 2 青木 康貴 岐 阜 1:10.130
- 3 高間 悠平 静 岡 1:11.175

成年ケイリン

- 1 小峰 烈 長 野
- 2 高橋 韻旨 岐 阜
- 3 落合 達彦 静 岡

成年4km速度競走

- 1 矢代 慎吾 富 山 4:55.18
- 2 中島 和夫 岐 阜
- 3 山本 貴洋 福 井

成年ホクトレース

- 1 西山 知宏 福 井 61p
- 2 鈴木 謙一 静 岡 60p
- 3 岡部 英人 富 山 29p

チームスプリント

- 1 三 重 西村・小川・村田 1:19.915
- 2 石 川 茨城・山崎・岩田 1:21.165
- 3 岐 阜 山田・田口・横関 1:21.800

4km団体追抜競走

- 1 岐阜 富田・西山・山本・宮腰 4:42.800
- 2 静岡 水野・内田・鈴木・石田 4:46.030
- 3 富山 坂本・岡部・矢代・寺垣 4:49.690

チームタイムトライアル

- 1 岐阜 井関・中島・高橋・横関 53:50.41
- 2 福井 高間・東・西山・山本 54:57.70
- 3 静岡 鈴木・飯島・石田・谷崎 55:19.11
- 4 富山 岡部・矢代・寺垣・大石 55:19.46
- 5 三重 大橋・小川・若松・森下 55:53.05
- 6 長野 宮嶋・伊藤・宮澤・柿澤 57:07.02

第41回全国地域別道路競走近畿地域大会
(2006/5/21 京都・北桑田郡南丹市美山町)

U17男子個人ロードレース(74.9km)

- 1 辻 貴光 京都 スパ`ル 1:47:48.00
- 2 日置 大輔 兵庫 マリウス 1:47:49.43
- 3 下林 伸行 兵庫 シェ`スト 1:48:17.85
- 4 松井 久 大阪 カガ`ガス 1:48:52.16
- 5 永良 大誠 兵庫 グラデ`ル 1:49:06.69
- 6 村田 憲治 大阪 京都工芸 1:49:07.23

U23個人ロードレース(74.9km)

- 1 三河井 翼 京都 同志社大 1:49:07.68
- 2 稲益 拓也 京都 京都大学 1:49:08.16
- 3 多端 亮 奈良 1:49:17.82
- 4 小渡 健悟 奈良 大市立大 1:49:50.61

女子個人ロードレース(42.8km)

- 1 豊岡 英子 大阪 masahiko 1:07:25.58
- 2 酒井 真清 大阪 Testach 1:08:20.76

第38回近畿地域自転車競技選手権大会
(2006/7/17 滋賀・大津びわこ競輪場)

少年スプリント

- 1 後藤 祐貴 兵庫 三田学園高校
- 2 鈿持 草 京都 平安高校
- 3 亀川 宗史 兵庫 三田学園高校

少年1kmタイムトライアル

- 1 菱田 浩二 京都 花園高校 1:11.840
- 2 亀川 宗史 兵庫 三田学園高 1:13.640
- 3 黒井 久賢 和歌山 和歌山北高 1:16.070

少年4km速度競走

- 1 野口 正則 奈良 榛生昇陽高 4:50.880
- 2 小西 悠貴 京都 北桑田高校
- 3 海老瀬将太 京都 北桑田高校

少年タイムトライアル

- 1 小西 悠貴 京都 北桑田高校
- 2 下久保尚貴 京都 北桑田高校
- 3 松井 響 京都 北桑田高校

少年ホクトレース

- 1 木守 望 和歌山 和歌山北高校 18p
- 2 菱田 浩二 京都 花園高校 15p
- 3 元砂 海人 大阪 大産大付属高校 12p

成年スプリント

- 1 乾 庄平 滋賀 瀬田工OBクラブ
- 2 田中伊久男 奈良 中吉野広域消防
- 3 坂井 将人 兵庫 グラデ`ル`播磨

成年1kmタイムトライアル

- 1 辻本 学 京都 岩井商会 1:09.850
- 2 太田 貴明 京都 京都産業大 1:10.720
- 3 三谷 政史 滋賀 スラ`グ`R. 1:11.970

成年ケリッ

- 1 三谷 政史 滋賀 ストラダレーシング
2 岡 豊洋 和歌山 京都産業大学
3 池本 揚亮 和歌山 中京大学

成年4km速度競走

- 1 太田 貴明 京都 京都産業大 4:52.870
2 岡 豊洋 和歌山 京都産業大
3 辻中 国宏 京都 日本大学

成年ホクトレース

- 1 河原林 淳 京都 立命館大学 24p
2 大矢 繁 奈良 梅彦 22p
3 前田 修平 和歌山 京都産業大学 21p

女子500mタイムトライアル

- 1 三井 由香 兵庫 八景中学・教 41.19
2 前田佳代乃 兵庫 西宮高校 42.62
3 内田菜穂子 大阪 関西大谷高校 44.15

女子3km個人追抜競走

- 1 内田菜穂子 大阪 関西大谷高 3:01.840
2 前田佳代乃 兵庫 西宮高校 3:07.860
3 柳 麻子 兵庫 明石清水高 3:20.770

平成18年度中国地域自転車競技選手権大会
(2006/9/10 鳥取・倉吉自転車競技場)

1kmタイムトライアル

- 1 岡田 真 鳥取 1:10.150
2 福井 敬司 鳥取 倉吉総高教 1:10.610
3 桜井 太士 鳥取 中央大学 1:12.466

スプリント

- 1 藤原 亮太 岡山
2 田中 享長 鳥取 倉吉総産高校
3 連佛 康浩 岡山

ケリッ

- 1 桜井 太士 鳥取 中央大学
2 福井 敬司 鳥取 倉吉総産高校・教
3 小西 康夫 岡山

ホクトレース

- 1 伊藤 剛正 鳥取 倉吉総産高校
2 岡田 真 鳥根
3 片山 達夫 岡山

チームスプリント

- 1 鳥 取A 福井・岩本・桜井 1:07.400
2 岡 山 小西・藤原・連佛 1:12.742
3 鳥 取B 小原・山本・柿本 1:19.960

4km団体追抜競走

- 1 鳥取A 田中・伊藤・山崎・松田 4:44.620
2 鳥根 寺本・原・曾田・岡田 4:49.280
3 岡山 田中・片山・藤原・高田 4:50.230

女子500mタイムトライアル

- 1 松本 世良 鳥取 倉吉東高校 41.605
2 北村 花恵 鳥取 鳥取湖陵高校 45.029
3 加納 知佳 鳥取 鳥取湖陵高校 49.344

女子2km個人追抜競走

- 1 北村 花恵 鳥取 鳥取湖陵高 3:04.900
2 松本 世良 鳥取 倉吉東高校 3:05.844
3 加納 知佳 鳥取 鳥取湖陵高 3:39.344

第41回中国地域自転車道路競走大会
(2006/6/11 広島・県立中央森林公園)

成年男子個人ロードレース(98.4km)

- 1 末本 大克 広島C 2:43:06.29
2 小森 亮平 広島A 2:43:11.16
3 石堂 大悟 広島B 2:43:24.76

- 4 上野 拓志 鳥 取A 2:43:25.08
5 酒居 良和 広島C 2:43:25.57
6 清水 英樹 鳥 取A 2:44:25.12

少年男子個人ロードレース(98.4km)

- 1 山崎 泰弘 倉吉総産高校 2:43:20.93
2 川端 勇樹 出雲工高校 2:43:22.13
3 新見 拓也 広島山陽高校 2:43:23.87
4 丸本 悠太 広島城北高校 2:43:27.52
5 片山 達夫 岡山工高校 2:43:30.60
6 松田 隆寛 倉吉東高校 2:44:36.50

第38回四国地域自転車競技選手権大会
(2006/11/25-26 香川・高松競輪場)

男子スプリント

- 1 矢野 賢児 高知 中四国自転車競技会
2 菊池 誠晃 愛媛 グレイトンヤス
3 矢野 泰弘 香川 矢野製菓

男子1kmタイムトライアル

- 1 山城 裕輝 高知 高松工芸高 1:10.51
2 矢野 泰弘 愛媛 矢野製菓 1:14.52
3 中山 哲之 香川 福祉専門学校 1:15.51

男子ケリッ

- 1 中山 哲之 香川 四国福祉専門学校
2 矢野 賢児 高知 中四国自転車競技会
3 水木 裕聡 高知 高知車連

男子4km速度競走

- 1 山田 哲治 高知 宇治電化工 5:04.09
2 岡田 真 高知 高知大学
3 矢野 泰弘 香川 矢野製菓

男子エリミネーション

- 1 田畑 健太 高知 岡豊高校
2 武藤 大輔 高知 高知中央郵便局
3 鷲辺 哲太 香川 高松工芸高校

男子スラッシュ(10km)

- 1 山地 大介 高知 農経高校 13:58.7
2 田畑 健太 香川 岡豊高校
3 野村 典嗣 愛媛 松山工業高校

男子ホクトレース(30km)

- 1 武藤 大輔 高知 高知中央郵便局 54p
2 山田 哲治 高知 宇治電化学工業 37p
3 岡田 真 高知 高知大学 30p

男子チームスプリント

- 1 高 知 矢野・大和・水木 1:23.140
2 香 川 中山・紅谷・久保 1:23.720
3 愛 媛 宮井・宮内・岡田 1:28.080

男子4km団体追抜競走

- 1 高知 田畑・岡田・山田・武藤 5:01.82
2 香川 矢野・山地・中村・鷲辺 5:09.43
3 徳島 櫻脇・内田・新居・藤井 5:28.21

女子500mタイムトライアル

- 1 石川菜々子 香川 笠田高校 40.67
2 玉井 千晶 香川 高松工芸高校 43.55
3 星川恵利奈 香川 笠田高校 44.61

女子2km個人追抜競走

- 1 石川菜々子 香川 笠田高校 2:54.76
2 玉井 千晶 香川 高松工芸高 3:00.95
3 星川恵利奈 香川 笠田高校 3:09.49

第31回四国地域自転車道路競走大会
(2006/10/15 香川・田方ダム周辺)

スプリント(75km)

- 1 門田 基志 愛媛 焼鳥山鳥 2:08:41.86

- 2 矢野 泰弘 香川 矢野製菓 2:09:00.09
3 丹蔵 智治 愛媛 焼鳥山鳥 2:10:16.60
4 佐川 広行 愛媛 焼鳥山鳥 2:10:24.22
5 内田 博之 徳島 香南局 2:14:48.52
6 櫻脇 哲也 徳島 カガミAS 2:14:48.85

U23(75km)

- 1 藤井 健司 徳島 徳島大学 2:11:56.96
2 新居広一郎 徳島 香川大学 2:14:39.82

ジュニア(75km)

- 1 青山 裕矢 香川 石田高校 2:08:36.51
2 藤井 敬弘 香川 石田高校 2:08:42.04
3 木村 佑輔 香川 石田高校 2:08:45.11
4 山地 大介 香川 農経高校 2:09:23.45
5 中村 政嗣 香川 高松工芸 2:10:32.58
6 藤岡 裕太 徳島 鳴門工業 2:15:31.87

平成18年度九州地域自転車トラック競技大会
第39回九州地域自転車道路競走大会
(2006/9/19-21 佐賀・武雄・大分・大分県)

男子スプリント

- 1 前田 義和 鹿児島 鹿屋体育大学
2 財前 匠 大分 別府商業高校
3 後藤 國仁 大分 大分市消防局

男子1kmタイムトライアル

- 1 新城 直明 沖縄 名桜大学 1:10.32
2 魚屋 周成 大分 日出陽谷高 1:10.56
3 市村 彰 宮崎 宮崎大学 1:10.62

男子ケリッ

- 1 前田 義和 鹿児島 鹿屋体育大学
2 阿部 将兵 大分 日本大学
3 藤野 貴章 佐賀 龍谷高校

男子4km速度競走

- 1 山崎 翼 大分 別府商業高校
2 村木 聖也 福岡 祐誠高校
3 大久保光次 鹿児島 鹿屋体育大学

男子エリミネーション

- 1 松田 大樹 大分 日出陽谷高校
2 大久保光次 鹿児島 鹿屋体育大学
3 出来 俊介 鹿児島 鹿児島実業

男子ホクトレース(24km)

- 1 越海 誠一 大分 別府商業高校 39p
2 村木 聖也 福岡 祐誠高校 33p
3 江夏 司朗 鹿児島 南大隅高校 33p

男子チームスプリント

- 1 鹿児島 前田・大久保・新納 1:19.60
2 大 分 山崎・後藤・財前 1:19.63
3 佐 賀 藤野・飯塚・古賀 1:21.88

男子4km団体追抜競走

- 1 大分 利根・越海・白川・佐藤 4:34.44
2 鹿児島 井手・大久保・出来・江夏 4:44.25
3 福岡 村木・坂本・西田・小林 4:49.02

男子個人ロードレース(93.48km)

- 1 利根 正明 大分 別府商業高 2:17:46
2 片山 和正 鹿児島 鹿屋体育大 2:17:53
3 大久保光次 鹿児島 鹿屋体育大 2:18:32
4 大久保 陣 鹿児島 鹿児島実業 2:18:32
5 越海 誠一 大分 別府商業高 2:18:32
6 山崎 翼 大分 別府商業高 2:18:33

500mタイムトライアル

- 1 川又 千裕 鹿児島 南大隅高校 40.09
2 上野 左智 大分 別府商業高校 41.20
3 廣本 茜梨 大分 別府商業高校 41.66

女子ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 川又 千裕 鹿児島 南大隅高校
2 池部 真知 大分 別府商業高校
3 明珍 裕子 鹿児島 鹿児島実業高校

2km個人追抜競走

- 1 川又 千裕 鹿児島 南大隅高校 2:48.57
2 上野 左智 大分 別府商業高 2:56.05
3 明珍 裕子 鹿児島 鹿児島実業 2:56.40

女子個人ロードレース(23.57km)

- 1 明珍 裕子 鹿児島 鹿児島実業高 42:53
2 川又 千裕 鹿児島 南大隅高校 42:57
3 池部 真知 大分 別府商業高校 47:55
4 武内 麻夢 大分 日出陽谷高校 47:56
5 廣本 茜梨 大分 別府商業高校 49:08
6 上原 彩葉 大分 別府商業高校 51:44

審判講習会開催のお知らせ

来る2月17日(土)に東京・練馬において東京車連主催の第3級公認審判員講習会(午前:MTB、午後:ロードトラック)が開催されます。詳しくは、<http://www.tokyo-cf.jp> で。

2007年シクロクロス世界選手権大会 日本代表選手団

大会名 2007年シクロクロス世界選手権大会
開催場所 ベルギー・ホーホレーデヒツ
大会期間 2007年1月27日～28日
派遣期間 2007年1月24日～30日
代表選手団
監督 沢田 雄一
コーチ 大門 宏・松井 正史
メニツク 中津 顕・石垣 鉄也・Sjaak Van Der Loop・Harrie Van Der Horst
総務 矢野 淳・徳竹 哲也
選手

男子エリート 辻浦 圭一(長野・ブリヂストンアンカー)

小坂 正則・丸山 厚(長野・スワコレシング)

三船 雅彦(JPCA・ミヤタ・スバルレーシング)

男子U23 竹之内 悠(京都・立命館宇治高校)・藤岡 徹也(兵庫・クラブシルベスト)

伊澤 優大(滋賀・Bee Club)・大塚 航(京都・masahikomifune)

女子エリート 豊岡 英子(大阪・masahikomifune)・荻島 美香(埼玉・アライレーシング)

志村みち子(埼玉・エキップあづみの)・田近 郁美(岐阜・GOD HILL)

2006ツアー・オブ・サウスチャイナシー 日本代表選手団

大会名 2006ツアー・オブ・サウスチャイナシー(UCI 2.2)
開催場所 ホンコン・チャイナ
大会期間 2006年12月25日～30日
派遣期間 2006年12月22日～2007年1月1日
代表選手団

監督 福田 公生(連盟強化コーチ)
メニツク 鬼原 積(連盟強化スタッフ)
選手 飯島 誠(JPCA・ブリヂストンアンカー)
村山 規英(東京・ブリヂストンアンカー)
太田 貴明(京都・京都産業大学)
小豆畑郁也(福島・日本大学)
白川 功(大分・日本大学)
角 令央奈(兵庫・鹿屋体育大学)

ジョラジャ・マレーシア 日本代表選手団

大会名 ジョラジャ・マレーシア(ツール・ド・マレーシア・UCI2.2)
開催場所 マレーシア
大会期間 2007年1月6日～1月12日
派遣期間 2007年1月4日～1月13日
代表選手団

監督 三浦 恭資(JCF選手強化コーチ)
メニツク 齊藤 健吾(JCFロード競技部会支援スタッフ)
マッサー 坂井 聖美(JCFロード競技部会支援スタッフ)
選手 廣瀬 敏(石川・愛三工業レーシング)
阿部 良之(JPCA・スキルシマノ)
飯島 誠(JPCA・ブリヂストンアンカー)
清水 良行(岡山・Team NIPPO)
増田 成幸(千葉・ミヤタスバルレーシング)
飯野 嘉則(東京・スミタラバネロパルレイズミ)

連盟の動き(12月上旬～1月中旬)

- 12月3・6日 第15回アジア競技大会トラック日本代表選手団出発 於:カタール・ドーハ(帰国 12/10)
7日 平成18年度第3回理事会 於:東京・日本自転車会館
11日 2006-2007トラックW杯第2戦日本代表選手団出発 於:ロシア・モスクワ(帰国 19日)
22日 2006ツアー・オブ・サウスチャイナシー日本代表選手団出発 於:ホンコン・チャイナ(帰国 1/1)
1月4日 ジョラジャ・マレーシア2007日本代表選手団出発 於:マレーシア(帰国 1/13)
6日 第1級公認審判員講習会 於:千葉・幕張OVTA(~8日)

JCF協賛スポンサー



シクリスムエコー No.136 2007年1月号

発行/財団法人 日本自転車競技連盟

発行人/岩橋 昭一

編集人/加藤 昭

編集事務局/財団法人 日本自転車競技連盟 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-3 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>